

## 栃木県知事から感謝状を拝受

～ 防犯への取組みを「安全で安心なまちづくり功労地域団体」として評価 ～

日本損害保険協会関東支部 栃木損保会(会長：石谷 佳代子・三井住友海上火災保険株式会社栃木支店長)では、日頃より県内の安全安心な街づくりに資する取り組みとして、防犯活動に取り組んでいますが、今般、こうした取り組みにより、栃木県知事(福田 富一)から感謝状が授与されました。

近年、北関東を中心に太陽光発電施設の銅線ケーブル等の金属盗難が多発しており、栃木県内でも、2024年の同施設での盗難被害が1,225件発生し、県内の金属盗難全体の7割近くを占めています。こうした状況を踏まえ、栃木損保会では栃木県警と連携して、太陽光発電施設の銅線ケーブル盗難を注意喚起する動画を作成し、発電所オーナー等に注意を呼び掛けるなど、啓発に取り組んでいます。

また、自動車盗難についても、栃木県は盗難認知件数が、毎年全国ワースト10位内に入る盗難多発県であることから、栃木損保会として、ラジオで注意喚起をするなどの啓発を継続して行っております。これらの継続的な防犯の関する取り組みが評価され、このたび感謝状が授与される運びとなったものです。

11月4日(火)に栃木県総合文化センターで開催された「第17回栃木県交通・生活安全安心県民大会」の席上で、「安全で安心なまちづくり功労地域団体」への表彰式が行われ、栃木県知事から感謝状の授与がありました。

栃木損保会では、今後も行政や警察と連携し、安全安心な街づくりに向けた取り組みを継続して行っていります。



授与された感謝状